

項 目	意 見 の 要 旨	府 の 考 え 方
1 計画全般に関する こと	<p>食育は、家庭の食生活のあり方に及ぶ概念であり、現実に即した取組の推進を考える必要がある。</p>	<p>食育の推進には、府民一人ひとりが、健全な生活習慣や食生活を実践することが大切と考えています。 このため、食育推進計画では、食育の原点である家庭での取組を基本に、関係者や関係機関がそれぞれの役割を果たしていくことで、健全な食生活を支える環境づくりに努めることとしています。</p>
	<p>食育は、健全な生活を営むための一面であり、健全な生活習慣を身に付ける教育が必要。</p>	<p>計画において、正しい生活リズムと望ましい食習慣づくりを進めることとしています。</p>
2 京都の特色に関する こと	<p>京都府には、豊かな生産地、伝統ある観光都市・消費地があり、独特の食文化を食育に取り入れ推進することが、食文化を伝承し、地産地消をすすめていく上で大切。</p>	<p>京都府の様々な特色を生かした食育の取組を推進することとしています。</p>
3 基本理念に関する こと	<p>『京都の「食」伝承』という表現は良いが、旬の素材を活かした行事食やおばんざいをおいしいと感じる味覚を育むことだけでは狭いので、『京都の「食」伝承』の後に(「日本型食生活」)を補足することが必要。</p>	<p>食生活の改善も含めた取組を展開することとしており、御意見も踏まえ、「計画推進のための取組」等の記述を行っています。</p>
4 取組の方向・関係者の役割に関する こと	<p>「ほんまもん」と出会い、五感で味わう食育～「食」に感動する機会を作る取組は大切なことなので、しっかりと進めてほしい。 「旬の素材を生かした行事食やおばんざいを中心に、京都の食の伝承をはかること」はきわめて大切。</p>	<p>御意見も踏まえ、食育の取組を進めます。</p>
	<p>食育ネットワークをつくり、みんなで取り組む食育について、充実してほしい。 小さなNPOでは取組に限界がある。NPOと専門職、料理人さんなどを交えた研究会や実践グループが生まれても良い。行政にそのコーディネートを願います。</p>	<p>食育ネットワークをつくり、関係者・関係機関、府民グループ等が連携して取組を進めます。</p>
	<p>関係団体の連携が機能するように、京都府がコーディネーターの役割を果たしてほしい。</p>	<p>府がコーディネーター役となり、府レベルの関係機関・団体等の連携を進めたいと考えています。 また、各地域における学校、保育所等、食育を進めるグループや、市町村、府の地域機関の連携も進める必要があり、市町村・保健所の栄養士や学校の栄養教諭などそれぞれの地域で適任の方に企画・調整役になっていただき、連携の取組が進むような状況もつくっていきたくと考えています。</p>
	<p>電子媒体の活用では、京都府のホームページに、「食育推進」のサイトを設け、関係団体の活動がいつでも交流できるようにリンクやメールマガジンの配信など、タイムリーな情報提供ができるようにすすめてほしい。</p>	<p>御意見も踏まえ、具体的な取り組みの中で検討します。</p>

項 目	意 見 の 要 旨	府 の 考 え 方
4 取組の方向・関係者の役割に関すること (続き)	マンパワー強化の取組について、各団体の人的資源を確保するとともに、京都府独自に人材育成のための食育養成講座を開催し、府民が関心を持ってすすめられるようにしてほしい。	計画において、食育活動の核となる人材を育成し、その活動を支援することとしています。 なお、食育養成講座は、具体的取組の中で検討したいと考えています。
	地域の責任で、惜しみなく、子どもたちの給食に地元の旬を取り入れてほしい。	府内産野菜を年1回以上給食に利用する小・中学校の割合を、100パーセントにすることとしていますが、利用回数の増加等、取組の推進を検討します。
	取組の中に『「安全・安心」を選ぶ力をつける』を付記してほしい。	御意見を踏まえ、計画に記載しました。
	食品業界との連携や添加物についての啓発も行う必要がある。	関係者、関係機関による食育ネットワークを食品業界も含めて構築し、連携を図ることとしています。 食品添加物も含め、食品に関する知識の啓発を進めることとしています。
	市町村がどのような計画を立てればよいのかという観点でみると、推進の方向性が明確でない。	市町村説明会を開催し、府の考え方を説明したところであり、引き続き情報提供に努めます。
	重要なことや必要なことが何かは分かるが、具体的に誰が何に取り組むのかわからない。	計画は、京都府内での食育推進の方向性と全体像を示すものであり、府が実施する施策は、毎年度の予算等に基づき具体化することとしています。 なお、御意見も踏まえ、計画の記載方法等を工夫しました。
5 ライフステージごとの取組に関すること	壮年前期で、市町村や職場が行う健診や食育教室に積極的に参加することが必要との記載はもっともである。	
	ゆりかごの時期から取組を行うには、親に知識・技術を持ってもらうことが必要。特に、妊娠期には、今以上に人と予算をつけて府が広域行政として積極的に取り組むことが重要で、少ない予算であればこそ、この時期に集中すべき。少子化対策予算とも連携して、将来の食育地域実践リーダーの養成も念頭に入れて取り組んで行くという強い意志が伝わる計画にされたい。	妊娠期から食育の取組を進めることが大切と考えています。 このため、市町村や関係団体と連携し、定期検診や母親(父親)教室、乳幼児検診などにおける取組を工夫して進めたいと考えています。 御意見の趣旨も踏まえ、具体的な取組について、さらに検討してまいります。
	学校での食の教育を充実し、その内容が子供を通じて家庭(親)に還流するような取組を期待したい。	保護者も参加できるような食育の取組を積極的に取り入れるなど、学校における食育をさらに充実することにより、家庭への啓発に努めてまいります。
	「大学生の食育はどうあるべきか」の研究・実践を交流しあう場所が欲しい。	御意見も踏まえ、具体的な取組の中で検討します。
	青年期の取組とサポート体制が、計画では、やや抽象的になっている。	御意見を踏まえ、社会的サポートによる健康管理の必要性を追加しました。
	計画推進のための取組をより具体化し、各ステージごとに食育プログラムを作成、食育推進のツール作りを進めてほしい。	御意見も踏まえ、具体的な取組の中で検討します。

項 目	意 見 の 要 旨	府 の 考 え 方
5 ライフステージごとの取組に関する こと ( 続 き )	ライフステージにおいての取組では、私ども大学生協・地域生協・職域生協それぞれが取組をすすめると同時に、共同・連携の可能性を追求していきたい。	
6 計画推進のための取組に関する こと	朝食をほぼ食べない児童など、その原因を把握した上で施策を進める必要がある。	御意見の趣旨を踏まえ、具体的な取組の中で検討します。
	学校現場での食育はイベント的なものではなく、学校のカリキュラムに組み込んだり、普段の生活の中で行える内容にするといった工夫が必要。	御意見の趣旨も踏まえ、食育の指導計画を策定・実施する公立学校を100%にする数値目標を設定しました。 関連教科や特別活動等、各教科・領域にわたって、学校教育活動全体で組織的・計画的に食育を推進していきます。
	海外の原産地から来て身近なものとなっている野菜が多い。野菜を通じて自分たちが海外の国とつながっていることを理解することも、取組の中に入れていく必要がある。(野菜は世界の文化遺産)	具体的な取組の中で、御意見の趣旨を踏まえ検討してまいります。
	食育アドバイザーとして活動している食生活改善推進員とのネットワークの構築と支援をお願いします。	関係者、関係機関による食育ネットワークを構築し、連携して取組を進めたいと考えています。
	食育と食の安心・安全をコラボレートし、「食に関するリーフレット」を作成し、広報することで相乗効果を得られる。	食育に関する情報提供を行うこととしており、その中で具体的な取組を検討します。
	栄養教諭や保育士、保健師など食育に関わる職業を志す学生が、実際に現場で食育を行うことで、人材育成、世代間交流の面で高い効果が期待できる。	御意見を踏まえ、人材育成・マンパワー強化の取組に、食育に関わる職業を志す学生を活用した取組を追加しました。
	京都府内産で安全でおいしい伝統食を給食に増やしてほしい。	府内産の食材や伝統食等の学校給食への導入は年々増加しており、こうした取組がさらに広がるよう、引き続き学校給食の充実に努めてまいります。
	学校給食には、できる限り地場産の食物、特に主食となる米や小麦は安全な食物を使ってほしい。	地場産物を給食に取り入れる例が年々増加しており、引き続き学校給食の充実に努めてまいります。 米や小麦は、財団法人京都府学校給食会を通じて、残留農薬検査等を実施しており、引き続き衛生管理の徹底に努めてまいります。
6 計画推進のための取組に関する こと ( 続 き )	給食に専門の調理師さんを置くことで学校と親のコミュニケーションが、食や健康を通じてもできるようになる。	食に関する学校と親のコミュニケーションは、栄養教諭の重要な役割の1つと位置付け、栄養教諭の配置を促進し、その専門性を生かしながら、学校教育活動全体で食育を進めることにより、学校と家庭とのコミュニケーションを深めてまいります。

項 目	意 見 の 要 旨	府 の 考 え 方
6 計画推進のための取組に関する こと (続き)	<p>給食は体にいい安全なものを使って欲しいし、食器もアルマイトなどではなく、強化磁器を使用して食事を楽しむものにしてほしい。 学校給食は、地場産をできるだけ取り入れられるように小さい単位で給食食材の供給をしてほしい。</p>	<p>御意見を参考にして市町村と食育推進の連携を図ってまいります。</p>
	<p>中学校でも給食を実施してほしい。 自校での中学校給食を実施してほしい。</p>	<p>中学校給食の実施については、設置者である市町村で判断されており、府の計画での検討は困難です。</p>
	<p>中学校の給食を府の制度で確立してほしい。</p>	<p>食育計画や取組においては、検討できません。</p>
	<p>小学校の遠足などに、観光農園などをもっと使うべき。</p>	<p>小学校では遠足の他、生活科や総合的な学習の時間で体験学習が積極的に取り入れられ、地域の農園を活用する学校も増加していますので、御意見を参考にして、市町村と食育推進の連携を図ってまいります。</p>
	<p>自給率を上げるため、農民が作ったただけ買上げられるようお願いする。</p>	<p>御提案の内容は、平成22年度までの食育計画における内容としては、すぐわないと考えています。</p>
	<p>「食育」をキャンペーンとして、予算を沢山盛り込んで推進してほしい。</p>	<p>国の取組とも連携しながら、広範囲に広がるよう工夫して推進していきます。</p>
7 目標に関する こと	<p>計画推進のための取組と成果目標との関係でよくわからない部分がある。</p>	<p>御意見を踏まえ、記載方法を工夫しました。 なお、数値測定可能なものを中心に成果目標を設定しており、全ての取組について数値目標を掲げたものではありません。 また、目標数値の達成を目的とするのではなく、取組の推進効果の指標として活用していくこととしています。</p>
	<p>朝食摂取率については、小学生だけでなく、中・高校生、大学生も対象にしてはどうか。</p>	<p>この計画では、成長段階にある小学生について成果目標を掲げましたが、今後、御意見の趣旨を踏まえ、具体的取組のなかで検討してまいります。</p>
	<p>バランスのとれた食生活を送っているかどうかの目標設定が必要。</p>	<p>栄養バランスのとれた食生活を実践できるよう取組を進めることは、この計画の趣旨の1つですが、達成度を数値で測定することは、困難と考えています。</p>
	<p>学校での栄養教諭の育成・配置について、目標設定が必要。</p>	<p>栄養教諭の配置の促進及び資質の向上を計画に記載しており、積極的に推進してまいります。配置の数値目標の設定は困難です。</p>
8 推進体制と計画の進行管理に関する こと	<p>食育に関する「情報交流」を活発にしてほしい。 府ホームページに「食育推進」のサイトを設置してほしい。</p>	<p>食育に関する情報提供を行うこととしており、その中で具体的な取組を検討します。</p>

項 目	意 見 の 要 旨	府 の 考 え 方
8 推進体制と計画の進行管理に関すること (続き)	「食育ネットワーク」を形成し、食育に関する「活動交流」を活発にすることが重要であり、そのような「場」をもってほしい。	関係者、関係機関による食育ネットワークを構築し、連携した取組を推進したいと考えています。
	ネットワークを推進する組織として「協議会」を設置することに賛成。多くの団体が加入し、息の長い取組にしていく必要がある。	様々な食育の関係者が集い、各々の特性を活かしながら、府民運動として食育を推進することとしています。
	「コーディネーター（調整役）を明確にし、関係者が連携」となっているが、関係機関が広範囲にまたがっており、要項等を示してもらわないと市町村での推進が困難。	わかりやすいようイメージ図を追加しました。 具体的内容は、今後の取組の中で検討します。
	京都府における推進体制では、「プロジェクト」と併せて、食育推進を担う専任の部局を配置し、計画の進捗状況を把握、遂行してほしい。	プロジェクトは専任担当も配置されています。各部局と連携して食育の取組を推進していきます。
9 その他	「きょうと健康長寿日本ープラン(中間案)」と重複することによるムダや無理がないよう十分な打ち合わせが必要。	府の関連計画と連携・調和を図りながら、総合的な府民運動として食育を推進します。
	各分野での推進計画については、具体的な細かい計画はもっと現場に任せられた方がよい。下からの意見を汲み上げる努力をさらにしてほしい。	御意見を踏まえ、取組を推進します。
	調査活動や教育プログラムの開発など大学や研究等との連携が必要。	御意見を踏まえ、具体的な取組の中で検討します。
	市町村との連携も重要。	市町村はもちろん、関係者、関係機関による食育ネットワークを構築し、連携した取組を推進したいと考えています。
	食育活動を応援するための、国の助成紹介や府独自の措置があってもよい。 ボランティア等を無償でと思われるのであれば、この計画は無理。	御意見を踏まえ、具体的な取組の中で検討します。
	食を通じて子ども達と自分の体のこと、農業のことなど話し合っていくのはとても大切。	/
	子ども達は、野菜の形や一匹丸ごとの魚を見て育ったので、料理、おさしみづくりをする。これぞ食育と思う。	/